

2012年6月22日

「オリセツト®ネット」で2012年「ヘルス・アワード」を受賞

住友化学は、このたび、「GBCヘルス^(*)」(GBCHealth)から、「2012年ビジネス・アクション・ヘルス・アワード」(the 2012 GBCHealth Business Action on Health Awards)を受賞いたしました。

ニューヨークに本部を置く「GBCヘルス」は、毎年「ビジネス・アクション・ヘルス・アワード」を主催し、健康問題の改善活動に取り組む優れた民間企業を、8つの分野で表彰しています。本年ニューヨークで開催された授賞式において、住友化学は、マラリア予防用防虫剤処理蚊帳「オリセツト®ネット」を開発したこと、ならびに、「オリセツト®ネット」の生産拠点をタンザニアに設立し雇用の創出と地域経済の発展に寄与したことが評価され、アプリケーション・オブ・コア・コンピタンス (Application of Core Competence) 部門での受賞に至りました。

「オリセツト®ネット」は、住友化学の独自技術により開発された殺虫剤を練りこんだポリエチレン製の糸で織られたマラリア予防用の蚊帳です。殺虫剤が蚊帳の表面に徐々に染み出し、洗濯しても効果が5年以上持続する点が特長で、経済的で効果的にマラリアを媒介する蚊から身を守ることができるため、WHO(世界保健機関)からも高く評価され、使用が推奨されています。

住友化学は、アフリカの人々にいち早く「オリセツト®ネット」を供給するとともに、地域経済の発展に貢献することを目的に、2003年にタンザニアの蚊帳メーカー「A to Z Textile Milles Limited」(以下、「A to Z社」)に技術を無償供与し、現地生産を開始いたしました。2008年には、「A to Z社」との合弁会社「Vector Health International Limited」(ベクターヘルス社)を設立し、新工場を稼働させ、増大する需要に対応しております。その結果、タンザニアにおける生産能力の合計は約3,000万張/年となり、最大8,000人の雇用創出につながりました。

住友化学は、これからも、「オリセツト®ネット」の事業を通じてマラリア予防に取り組むことにより、人々の健康問題の改善に貢献していく考えです。

(*) ビジネスを通じて健康問題の解決に取り組む民間企業を支援する団体。200社以上の会員企業に対し、企業が健康問題の改善活動を推進する上で必要な情報提供や技術的な支援などを行っている。

以 上